



## 明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリ

生産

【資料名】 馬鍬(普通馬鍬)

【年代・来歴】

【寸法】 A)横幅 91cm 高さ 62cm B)横幅 107cm 高さ 79cm

【保存状態】 概ね良好

【画像A】



【画像B】



### 【略説明】

犁とともに最も古くから使われた農具の一つで、押し砕き作用による碎土・整地を行う。構造、姿とも永年変わらないまま、水田の代かきなどに用いられた。

### 【注記】

東京農工大学農学部は、明治期初期から昭和30年代までの間に使われたさまざまな形式の畜力農機具100点あまりを収蔵しており、その資料群は産業考古学会選定「日本の産業遺産300選」に選定されている。

なお上記の略説明については、東京農工大学名誉教授 下田博之博士の著書「図説 畜力農機具発達史(1995年6月)」を基にしている。

【所蔵機関】 東京農工大学農学部

【住所】 東京都府中市幸町3-5-8

【連絡先電話番号】 042-367-5654(農学部総務室)

【所蔵URL】 <http://www.tuat.ac.jp/>

【閲覧】 要相談